

50608

教科書文庫

5
760
34-1948
20000 65710

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

C Y M

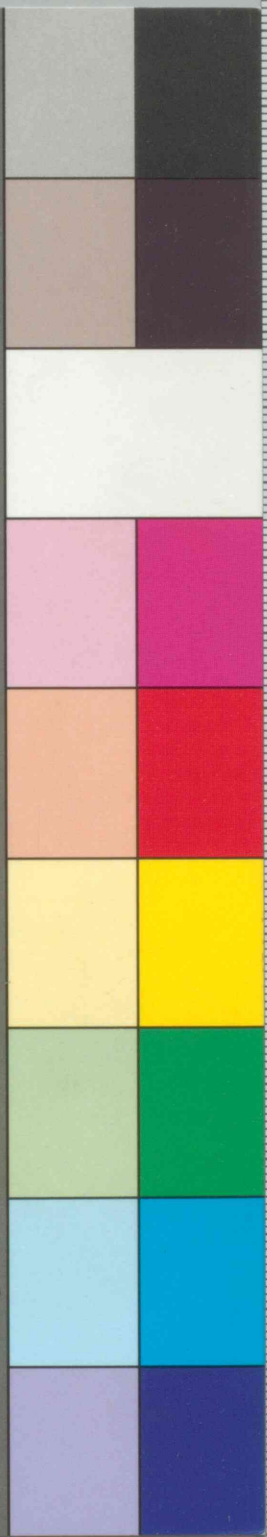
© Kodak, 2007 TM: Kodak

inches 1 2 3 4 5 6 7 8
cm 1 2 3 4 5 6 7 8

Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

二年生のおんがく

32
760
冊23(7)



もんぶしょう

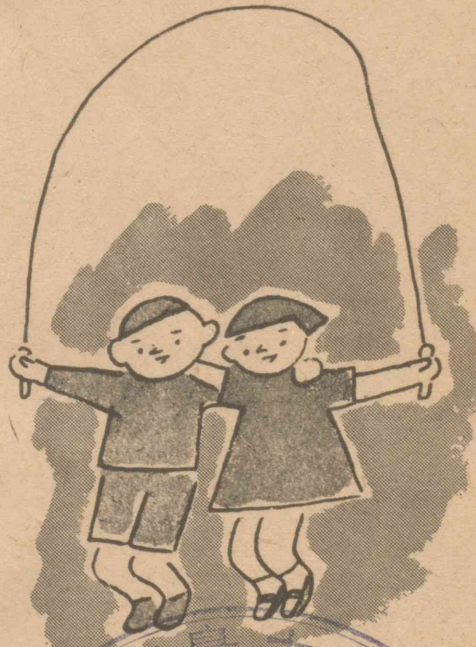
32

760

BB23(七)

資料室

二ねんせいのおんがく



もんぶしょう

もくろく

一	春	1
二	シーソー	5
三	くつがなる	8
四	さんぽ	12
五	どけいのうた	14
六	かぼちゃの花	17
七	花火	20
八	夜あけ	22
九	小うま	24
十	虫の声	27
十一	そうだん	30
十二	かかし	33
十三	どんぐりコロコロ	36
十四	木のは	39
十五	風の日	42
十六	まりつき	45
十七	はねつき	48
十八	雪	50
十九	石やさん	53
二十	春をまつ	56
二十一	水しゃ	58
二十二	春が来た	60

さしえ 脇田 和

春

作詞 勝 承夫
作曲 外 國民 謡

♩ = 112

The musical score is written in 4/4 time with a tempo of 112. It consists of three systems of music. The first system shows a vocal line with the lyrics 'ラン ラン ラ ラン ラ ラン ラ う た え' and a piano accompaniment. The second system continues the vocal line with 'ラン ラン ラ ラン ラ ラン ラ た の し' and piano accompaniment. The third system shows the piano accompaniment continuing with chords and melodic lines.

ラッ ラッ ラ ラッ ラ ラッ ラ う た え

ラッ ラッ ラ ラッ ラ ラッ ラ た の し

の も や ま も は な さ き

こ と り も た の し く う た う

ラッ ラッ ラ ラッ ラ ラッ ラ は る

ラッ ラッ ラ ラッ ラ ラッ ラ う た え よ

ニ シーソー

一 ギツタン バツコ、

あがります。

春の 空

ひろいな。

二 ギツタン バツコ、

さがります。

春の くさ

あおいな。

一 春

ランランラ ランラ ランラ うたえ。

ランランラ ランラ ランラ たのし。

ランランラ ランラ ランラ うたえ。

ランラメラ ランラ ランラ たのし。

のも、山も、花さき、

小鳥も、たのしくうたう。

ランランラ ランラ ランラ、春、

ランランラ ランラ ランラ、うたえ。

シーソー

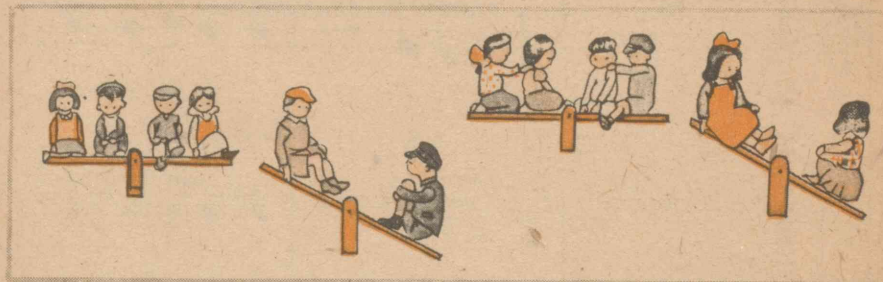
作詞 勝 承夫
作曲 外 國 民 謡

♩=104

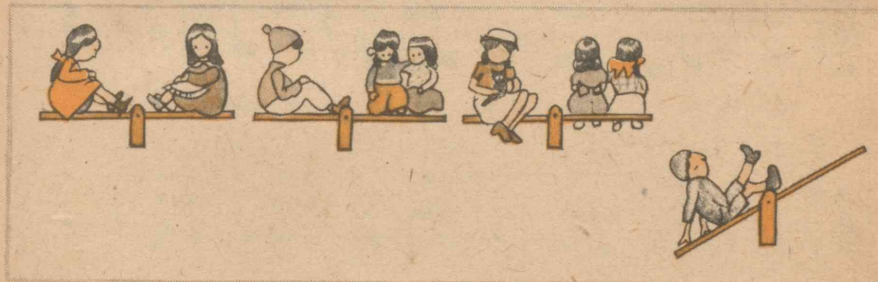
一 ギ ッ タ ン バ ッ コ あ が り ま す
二 ギ ッ タ ン バ ッ コ さ が り ま す

は る の そ ら ひ ろ い な
は る の く さ あ お い な

シーソー



一 ギ ッ タ ン バ ッ コ あ が り ま す
二 ギ ッ タ ン バ ッ コ さ が り ま す



は る の そ ら ひ ろ い な
は る の く さ あ お い な

くつがなる

作詞 清水かつら
作曲 弘田龍太郎

♩ = 104

一 おてて つないで
二 はなを つんでは

のみちをいけば みんな
おつむにさせば みんな

♪ はーうちにうたいます。♪♪ もーうちにうたいます。つないだはたとべつべつのはたとのちがいをしらべましょう。

かわーい ことりにーなつて うたを
かわーい うさぎにーなつて はねて

うたえば くつがなる
おどれば くつがなる

はれたおそーらにくつがなる
はれたおそーらにくつがなる



三 くつがなる

一 おてて つないで の道を いけば、
 みんな かわいい 小鳥に なつて、
 うたを うたえば、 くつが なる。
 はれた お空に くつが なる。

二 花を つんでは おつむに させば、
 みんな かわいい うさぎに なつて、
 はねて おどれば、 くつが なる。
 はれた お空に くつが なる。

さんぽ

作詞 勝 承夫
作曲 多 梅 稚

♩ = 120



一 わかくさもえる おかのみち
二 おがわのみずも サラサラと



こころもはずみ みもはずむ
やさしいおとを たてている



こどりのうたに さそわれて
おもしろそうに こやぎまで



わたしもい一つかうたいだす
わたしのうたをきいている



♪ ははんうちのやすみです。かき方のけいこもいたしましょう。

二

一

四 さんぽ

わたくしのうたをきいている。

おもしろそうに小やぎまで、

やさしい音を たてている。

小川の水も、サラサラと

わたしもいつかうたいだす。

小鳥のうたに さそわれて、

心もはずみ、みもはずむ、

わかくさもえる 丘の道、

どけいのうた

作詞 不明
作曲 外国民謡

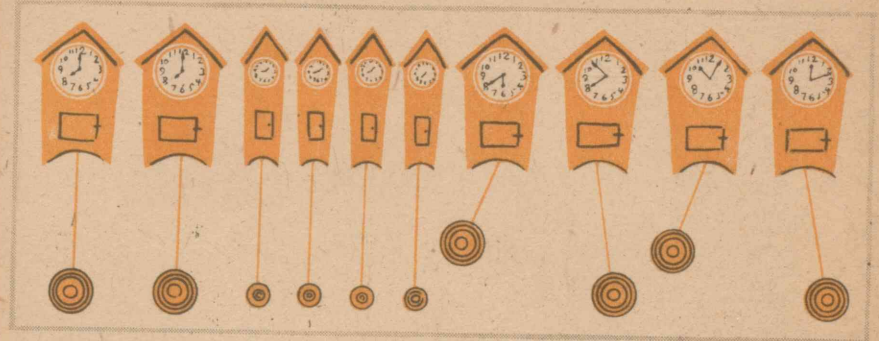
♩ = 132

おお きい とけい が カッ チン カッ チン

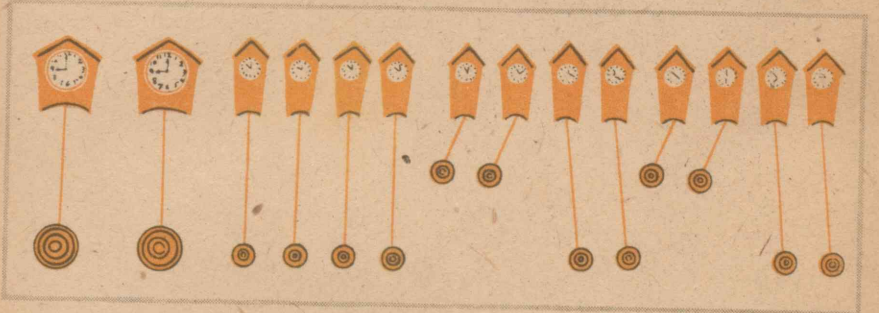
ちい さい とけい が カッ チン カッ チン カッ チン カッ チン

かい ちゅう どけい が チチチチチチチ チチチチチ

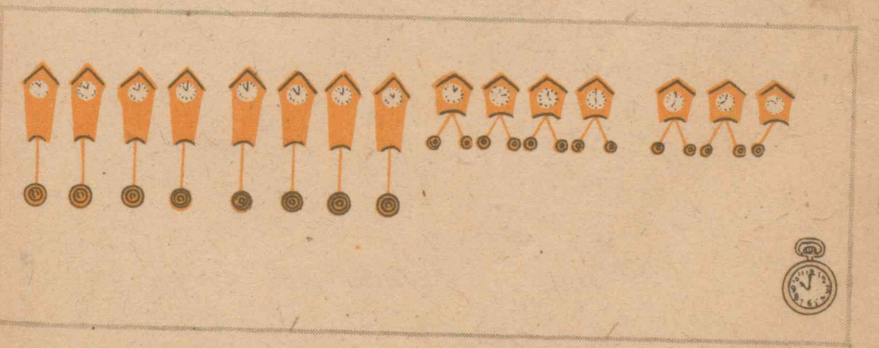
どけいのうた



おお きい とけい が カッ チン カッ チン



ちい さい とけい が カッ チン カッ チン カッ チン カッ チン



かい ちゅう どけい が チチチチチチチ チチチチチ



六 かぼちやの花

一 かぼちやの花が さきました。
あんなところに さきました。
夜あけに ばあと まつき色、
つゆを ふくんで さきました。

二 かぼちやの花が さきました。

はかげに 二つ さきました。
かなかなぜみも 目が さめて、
風に ゆれゆれ さきました。

五 とけいのうた

大きい とけいが、
カツチン、カツチン。

小さい とけいが、
カツチン、カツチン、
カツチン、カツチン。

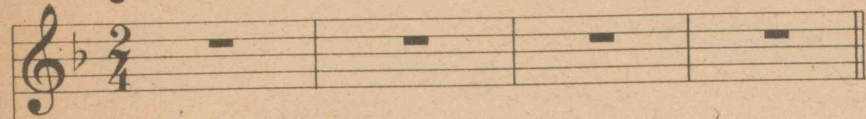
かいちゆうどけいが、
チチチチ、チチチチ、
チチチチ、チチチチ、
チ。

しょうかのふしは「ド・レ・ミ・ファ・ソ・ラ・シ・ド」というなまえでうたいます。このようない方のけいこをいたしましょう。

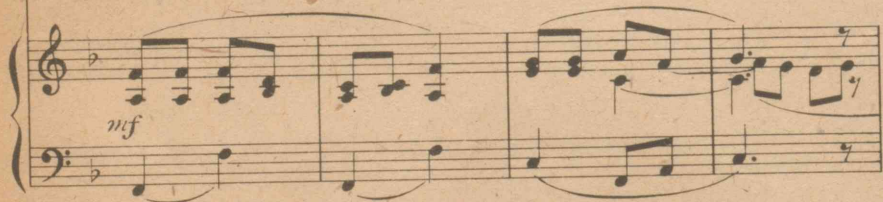
かぼちゃの花

作詞 こくご三
作曲 岡本敏明

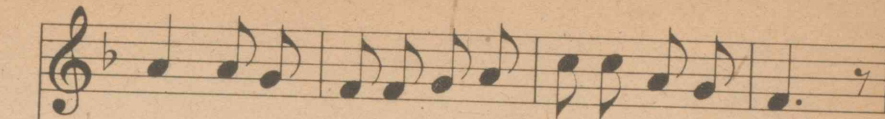
♩ = 80



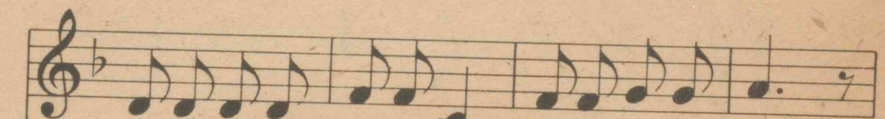
一 かぼちゃの はなが さきました
二 かぼちゃの はなが さきました



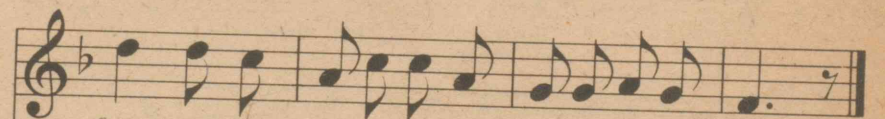
♪ ♪ これはみんなで二うちになります。長さを正しく歌いましょう。



あんなところに さきました
はかげに ふた一つ さきました



よあけに ぼあと まっきいろ
かなかな ぜみも めがさめて



つゆを ふくんで さきました
かぜに ゆれゆれ さきました



花 火

作詞 井上 尙
作曲 下總 皖一

♩ = 96

f

mp

一 ドンとなった はなびだ きれいだ な
二 ドンとなった なんびく あかいほ し

そらいっ ば いに ひろがっ た
いちどに かわって あおいほ し

mf

♪と♪とのちがいをしらべましょう。

二 一
も 一 ン した 空 花火 一 ドンと
一 一 どに だれ い だ、 ドンと
ど 一 どに ね や い だ、 なった
か 一 かわ 赤 な きれ 空 花 七
わ 一 わ 白 な い け り 火 七
つ 一 つ へ ば い に っ だ、 火 花
て 一 て っ っ っ っ っ っ っ っ っ っ 火
き 一 き 青 ひろ ひろ きれ きれ きれ
んの 一 の ほし、 った。 った。 だな。
ほ 一 し、 った。 った。 だな。

夜あけ

作詞 岩佐東一郎
作曲 ドイツ民謡

♩ = 112

一 カ タ リ コ ト リ く る ま の お と
二 カ タ リ コ ト リ と が あ く お と

よ あ け の と お り を く る ま が い く
と な り の お う ち も お め ざ め で す

これは四拍子の唱歌ですが、はじめは一うちしかありません。これは幾うち目の音でしょう。あとの三うちの音はどこにあるかしらべましょう。

二 カタリ コトリ とが あく音、

となりの おうちも
おめざめです。

車が いく。
夜あけの とおりを

一 カタリ コトリ 車の 音、

八 夜あけ

小うま

作詞 不明
作曲

♩ = 112

f *mf*
Rev. *

— ハイ シイ ハイ シイ あゆめよ こうま
ニ バカ バカ バカ バカ はしれよ こうま
mp

やまでも さかでも ズンズン あゆめ
けれども いそいで つま ずく まいぞ

おまえが すすめば わたしも すすむ
おまえが ころべば わたしも ころぶ
mf

あゆめよ あゆめよ あしおと たかく
はしれよ はしれよ ころばぬ ように
mf

十 虫の 声

一 あれ、まつ虫がなっている。

チンチロチンチロ、チンチロリン。

あれ、すず虫もなきだした。リンリンリンリン、リインリン。
秋の夜長を なきとおす、

ああ、おもしろい 虫の声。

二 キリキリキリキリ、こおろぎや、

ガチャガチャガチャガチャくつわ虫、

あとからうまおいおいついて、チヨン チヨン チヨン
チヨン、スイツチヨン。

秋の夜長を なきとおす、ああ、おもしろい 虫の声。

九 小うま

一 ハイシイ、ハイシイ、あゆめよ、小うま。

山でも、さかでも、ズンズン あゆめ。

おまえが すすめば、わたしも すすむ。

あゆめよ、あゆめよ、足おと 高く。

二 パカパカ、パカパカ、走れよ、小うま。

けれども、いそいで つまづくまいぞ。

おまえが ころべば、わたしも ころぶ。

走れよ、走れよ、ころばぬように。

虫の 声

作詞 不 明
作曲

♩ = 80

一 あれまつ むしが ないてい る
二 キリキリ キリキリ こおちぎ や

mp

チン チロ チン チロ チン チロリン あれすず むしも
ガチャガチャガチャガチャ くつわむし あとから うまおい

p *mf*

なきだした リン リン リン リン リン
おいついて チョン チョン チョン チョン ス イ ヅ チョン

あきのよながを なきとおす
あきのよながを なきとおす

mf

ああ おもしろい むしのこえ
ああ おもしろい むしのこえ

f

そ う だ ん

作詞 勝 承夫
作曲 平井保喜

♩ = 108

Musical notation for the first system on page 30. It features a vocal line in treble clef and piano accompaniment in grand staff (treble and bass clefs). The time signature is 2/4. The tempo is marked as ♩ = 108. The piano part starts with a *mf* dynamic and ends with a *f* dynamic.

Musical notation for the second system on page 30. It features a vocal line in treble clef and piano accompaniment in grand staff. The piano part includes a *sf* dynamic marking.

Musical notation for the third system on page 30. It features a vocal line in treble clef and piano accompaniment in grand staff. The piano part starts with a *mf* dynamic.

一 みんなで まーるく すわり まし
二 みんなで なかよく かんがえる

Musical notation for the first system on page 31. It features a vocal line in treble clef and piano accompaniment in grand staff.

あしたの そうだん うれしい な
あしたの にちよう うれしい な

Musical notation for the second system on page 31. It features a vocal line in treble clef and piano accompaniment in grand staff. The piano part includes a *f* dynamic marking.

やきゅうを しょうかさかなつり それ
まーるく すーわる くさはらの そら

Musical notation for the third system on page 31. It features a vocal line in treble clef and piano accompaniment in grand staff. The piano part includes triplets marked with a '3'.

と も やーまにきのことり
に は あーきのうろこぐも

十二 かかし

一 やまだの 中の 一ぽん足の かかし、
天氣の よいのに、みのかさ つけて、
あさから ばんまで ただ 立ちどおし。
あるけなひのか、やまだの かかし。

二 やまだの 中の 一ぽん足の かかし、

弓矢で おどして りきんで いるが、
山では からすが カアカと わらう。
耳が ないのか、やまだの かかし。

十一 そうだん

一 みんなで まるく すわりましょ、
あしたの そうだん うれしいな。
やきゆうを しようか、さかなつり、
それとも 山に きのこどり。

二 みんなで なかよく かんがえる、

あしたの にちよう うれしいな。
まるく すわる くさはらの
空には、秋の うろこぐも。

かかし

作詞 不明
作曲

♩=112

一 やまだの な 一 かの いっぼんあしの
二 やまだの な 一 かの いっぼんあしの

mf

かかし てんきの よいのに
かかし ゆみやで おどして

このしるしはなぜつけてあるでしょう。わけを考えてみましょう。

みのかさ つけて あさから
りきんで いるが やまでば

mp

ばんまで ただち どおし
からすが かゝかと わらう

mf

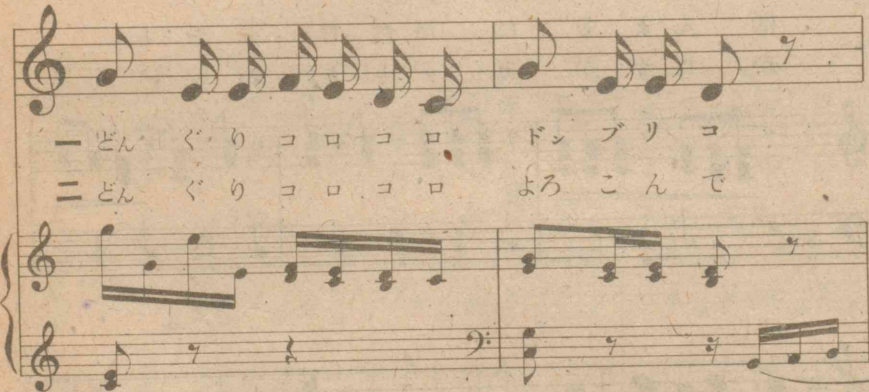
あーるけ ないのか やまだのかかし
みーみが ないのか やまだのかかし

f *mf*


どんぐり コロコロ

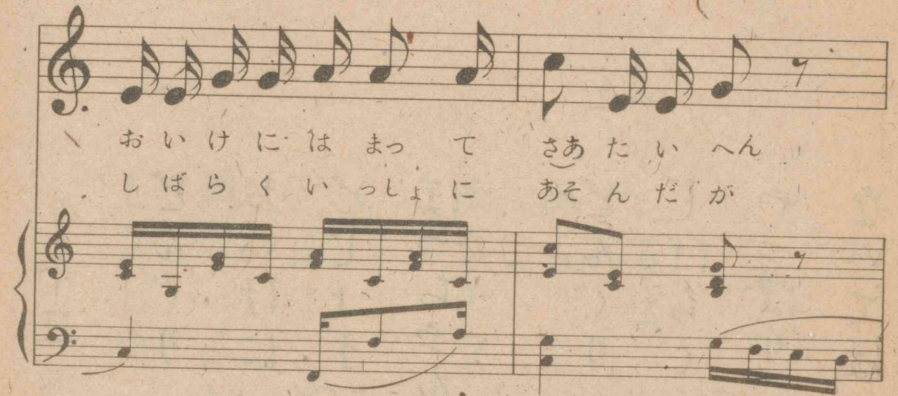
作詞 青木存義
作曲 梁田 貞

♩ = 60

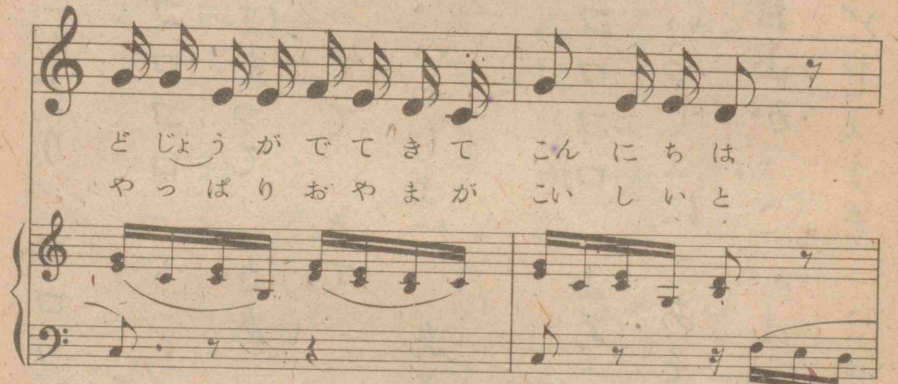


一 どんぐりコロコロ ドンブリコ
二 どんぐりコロコロ よろこんで

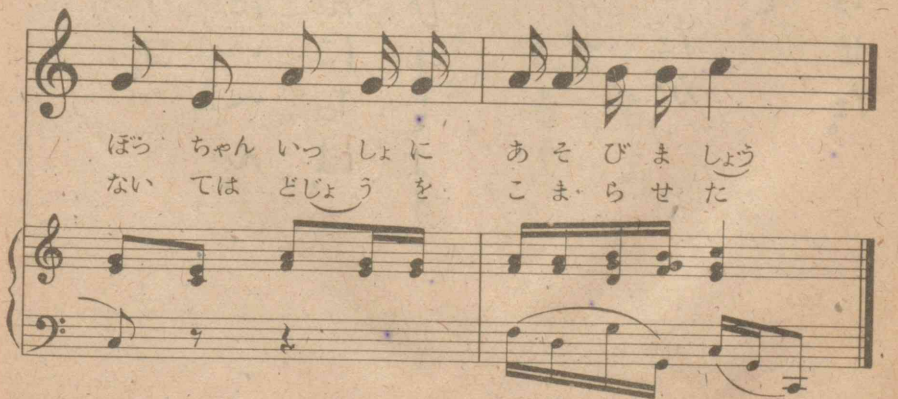
 の歌い方をおぼえましょう。



おいけにはまっ て さあた いへん
しばらくいっしょに あそん だが



どじょうがでてきて こんにちは
やっぱりおやまが うれしいと



ほら ちゃんいっしょに あそびましょ
う ないては どじょうを こまらせた

十四 木のは

一 ちるよ、ちるよ、木のはが ちるよ。
風も ふかぬに 木のはが ちるよ。
チラチラ チラチラ、チイラ チラ。

二 とぶよ、とぶよ、おちばが とぶよ。
風に ふかれて おちばが とぶよ。
ヒラヒラ ヒラヒラ、ヒイラヒラ。

十三 どんぐり コロコロ

一 どんぐり コロコロ ドンブリコ、
おいけに はまって さあ たいへん。
どじょうが でて きて こんにちは、
ぼっちゃん、いっしよに あそびましょう。

二 どんぐり コロコロ よろこんで、
しばらく いっしよに あそんだが、
やっぱり お山が こいしいと、
ないては どじょうを こまらせた。

木の は

作詞 吉丸一昌
作曲 梁田 貞

♩=88

一 ちるよ ちるよ きのはが ちるよ
二 とぶよ とぶよ おちばが とぶよ

♪このようになぜ小さいてんをつけてある
でしょう。歌い方をおぼえましょう。

かぜも ふかぬに きのはが ちるよ
かぜに ふかれて おちばが とぶよ

チラ チラ チラ チラ チラ チラ
ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ ヒラ

風 の 日

作詞 岩佐東一郎
作曲 ドイツ民謡

♩ = 100



一 かぜにぼりしが とばされて
二 あわてふためき までまでと



コロコロコロコロころげます
コロコロコロコロおいかけた



風 の 日



一 かぜにぼうしがとばされて
二 あわてふためきまでまでと



コロコロコロコロころげます
コロコロコロコロおいかけた

十六 まりつき

一、 ポン ポン ポン、 まりを つく。
 ねえさん うまいな、
 まだ まだ つづくよ。
 手まりうた、 手まりうた。

二 ポン ポン ポン、 まりを つく。

わたしは まずいな、
 いつ むう、 ななつで、
 手が それた、 手がそれた。

十五 風の日

一 風に ぼうしが
 とばされて、
 コロコロ コロコロ
 ころげます。

二 あわて ふためき
 まて まて と、
 コロコロ コロコロ
 おいかけた。

♪ この歌い方をおぼえましょう。

まりつき

作詞 勝 承夫
作曲 ドイツ民謡

♩=96

一 ポン ポン ポン まりをつく
二 ポン ポン ポン まりをつく

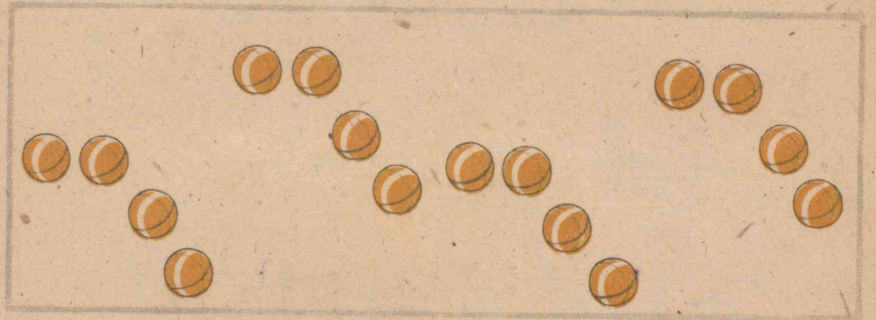
ねえさん うまいな まだまだ つづくよ
わたしは まずいな いつむう ななつで

てまりう た てまりう た
てがそれ た てがそれ た

まりつき



一 ポン ポン ポン まりをつく
二 ポン ポン ポン まりをつく



ねえさん うまいな まだまだ つづくよ
わたしは まずいな いつむう ななつで



てまりう た てまりう た
てがそれ た てがそれ た

はねつき

作詞 権藤花代
作曲 弘田龍太郎

♩ = 108

— おいばね こばね ことりになつて
二 おいばね こばね ちょうちよになつて

そらまで あがれ ひいふ — みいよ —
ヒラヒラ まえよ ひいふ — みいよ —

いつつで わたそ はなこさんに わたそ
いつつで わたせ はるえさんに わたせ

十七 はねつき

一 おいばね こばね 小鳥になつて、
空まで あがれ。
ひいふ、みいよ、
いつつで わたそ、
はなこさんに わたそ。

二 おいばね こばね、ちょうちよになつて、
ヒラヒラ まえよ。
ひいふ、みいよ、
いつつで わたせ、
はるえさんに わたせ。

雪

作詞 不明
作曲

♩ = 92

一ゆきやコンコ あられやコンコ
二ゆきやコンコ あられやコンコ

ふっては ふっては スンズン つもる
ふつても ふつても まだふり やまぬ

やまものはらも わたぼろしかぶり
いぬはよろこびに わかしまわり

かれきのこらすはながさく
ねこはこたつでまるくなる

十九 石やさん

一 カツチン カツチン 石を 切る、
めがねを かけて 石を 切る。
目もとを すえて 石を 切る、
あせを ながして 石を 切る。

二 カツチン カツチン 日が くれて、

火花が みえる のみの さき、
のみの 手もとは くらくとも、
カツチン カツチン 石を 切る。

十八 雪

一 雪や コンコ、 あられや コンコ。
ふつては ふつては、
ズンズン つもる。
山も、 のはらも、 わたぼうし かぶり、
かれ木 のこらず 花が さく。

二 雪や コンコ、 あられや コンコ。
ふつても ふつても、
まだふり やまぬ。
いぬは よるこび、 にわ かけまわり、
ねこは こたつで まるく なる。

石やさん

作詞 こくご三
作曲 平岡均之

♩=108

一カッ チン カッ チン いしをき ーる
二カッ チン カッ チン ひがくれ て

— はおやすみのしるしです。
いくうちやすむでしょう。

めがねを かけて いしをき ーる
ひばなが みえる のみのさ き

めもとを すえて いしをき ーる
のーみの てもとは くらくと も

あせを ながして いしをき ーる
カッ チン カッ チン いしをき ーる

春をまつ

作詞 岩佐東一郎
作曲 フランス民謡

♩ = 108

一 さむい ふゆもすぎて すぐに ちかづくのは
二 ゆきが いつかとけて あおく めをだすくさ

ひかり あかるいはる はやく こ い
いろも きれいな はな はやく さ け

V はいきつぎのしるしです。じょうずにいきつぎをいたしましょう。

二

雪が いつか とけて、
あおく めを だす くさ。
色も きれいな 花、
はやく さけ。

一

さむい 冬も すぎて、
すぐに ちかづくのは、
ひかり あかるい 春、
はやく こい。

二十 春をまつ

水しや

作詞 勝 承夫
作曲 岡本敏明

♩ = 76

一 すいしやが まわる カッター コットリ
二 すいしやが まわる カッター コットリ
三 すいしやが まわる カッター コットリ

まわる しずかな まひる のがわの
まわる こなひき ごやの おじさん
まわる まひるの そらが いくつも

みずに カッター コットリ まわる
おるす カッター コットリ まわる
ういて カッター コットリ まわる

二十一 水しや

一 水しやが まわる、カッター コットリ まわる。
しずかな まひる、
の川の 水に カッター コットリ まわる。
二 水しやが まわる、カッター コットリ まわる。
こなひき ごやの
おじさん おるす。カッター コットリ まわる。
三 水しやが まわる、カッター コットリ まわる。
まひるの 空が
いくつも ういて、カッター コットリ まわる。

これは半うちにうたいます。
のうたい方をおぼえましょう。

春が来た

作詞 不明
作曲 不明

♩ = 120

mf

一 はるがきた はるがきた どこにきた
二 はながさく はながさく どこにさく
三 とりがなく とりがなく どこでなく

V

mf

やまにきた さとにきた のにもきた
やまにさく さとにさく のにもさく
やまでなく さとでなく のでもなく

V

二十二 春が来た

一 春が来た、春が来た、どこにきた。

山にきた、さとにきた、のにもきた。

二 花がさく、花がさく、どこにさく。

山にさく、さとにさく、のにもさく。

三 鳥がなく、鳥がなく、どこでなく。

山でなく、さとでなく、のでもなく。

これはいくちのおやすみでしょう。

二ねんせいのおんがく

(教師使用分)

Approved by Ministry of Education

(Date Jan. 28, 1948)

昭和廿二年五月十五日 翻刻/発行
昭和廿三年二月五日 修正印刷
昭和廿三年二月二十日 修正発行
(昭和廿三年一月二十八日文部省検査済)

著作権所有 著者兼 文 部 省
発行者

東京都文京区久堅町一〇八番地

翻刻発行 日本書籍株式会社
兼印刷者

代表者 木村 澁之助

東京都文京区久堅町一〇八番地

印刷所 日本書籍株式会社

発行所 日本書籍株式会社
東京書籍株式会社
大阪書籍株式会社

4200

•